

平成21年度 中間期

株主通信

平成21年1月1日～平成21年6月30日



バイオ医薬品をリードする
研究開発力



安定した供給を実現する
バイオ生産テクノロジー

最新の医薬情報を提供する
スペシャリスト



そして、克服へ



中外製薬株式会社



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに平成21年度中間期（平成21年1月1日から平成21年6月30日まで）
の事業の概況をご報告申し上げます。
株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

平成21年9月

代表取締役社長 永山 裕

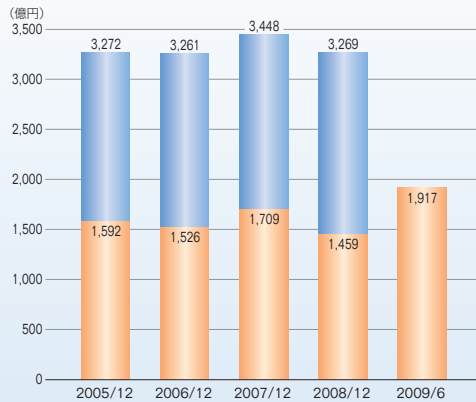
● 目次

株主のみなさまへ	1	主な臨床開発の状況	7
連結財務ハイライト	2	主要製品	10
事業の概況【連結】	3	株式の概況	11
財務諸表【連結】	5	会社の概況	13

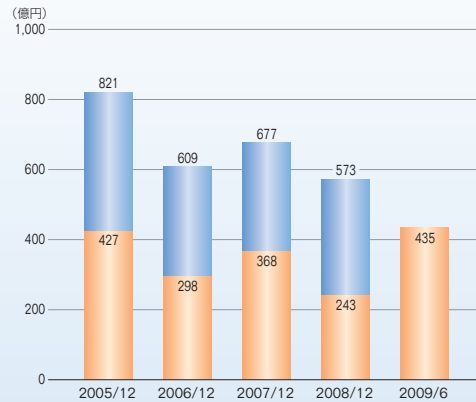
連結財務ハイライト

		2005/12	2006/12	2007/12	2008/12	2009/6
売上高	(億円)	3,272	3,261	3,448	3,269	1,917
営業利益	(億円)	792	583	667	516	372
経常利益	(億円)	821	609	677	573	435
当期純利益	(億円)	536	384	401	393	263
総資産	(億円)	4,564	4,621	4,589	4,785	5,017
株主資本・純資産	(億円)	3,683	3,843	3,787	4,016	4,175
一株当たり当期純利益	(円)	97.00	69.35	73.23	72.07	48.29
一株当たり純資産額	(円)	665.29	703.08	703.80	725.18	759.41

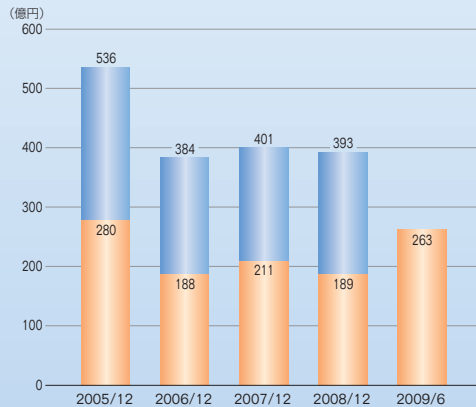
売上高



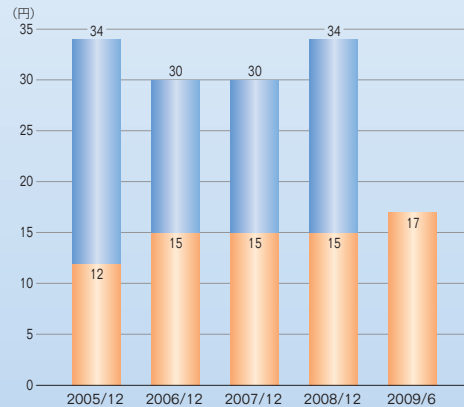
経常利益



当期純利益



1株当たり配当金



販売の状況

- 売上高 ▶ **1,917** 億円(前年同期比31.4%増)
- 海外売上高 ▶ **142** 億円(前年同期比8.7%減)

2009年1月1日から6月30日までの当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,916億91百万円(前年同期比31.4%増)となりました。

年度間で変動の大きい抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」の売上高253億70百万円(同1,510.1%増)及びその他の営業収入57億49百万円(同481.4%増)を除いた製商品売上高は、1,605億72百万円(同12.0%増)となりました。

〔国内製商品売上高〕

がん領域では、多数の後発品の影響により5-HT3受容体拮抗型制吐剤「カイトリル」の売上が減少したものの、抗悪性腫瘍剤/抗VEGFヒト化モノクローナル抗体「アバスタチン」と2008年2月に乳がん術後補助化学療法の追加承認を取得した抗悪性腫瘍剤/抗HER2ヒト化モノクローナル抗体「ハーセプチン」をはじめとする新製品及び適応拡大品が順調に市場へ浸透した結果、577億63百万円(同31.1%増)となりました。

骨・関節領域では、2008年4月に関節リウマチ等の追加承認を取得したヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体「アクテムラ」の売上増加により、269億20百万円(同18.4%増)となりました。

移植・免疫・感染症領域(「タミフル」を除く)では、C型肝炎の併用療法浸透によりペグインターフェロン-α-2a製剤「ペガシス」、抗ウイルス剤「コペガス」が伸長し128億12百万円(同20.0%増)となりました。

一方、腎領域では、2008年4月の薬価改定と競争激化の影響により遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」の売上が減少し、288億4百万円(同2.3%減)となりました。

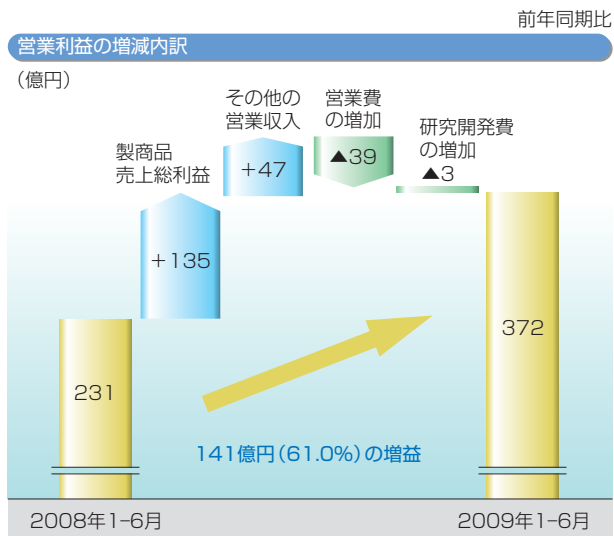
「タミフル」につきましては、当第2四半期連結累計期間では390億円の売上高を見込んでおりましたが、253億70百万円の実績となりました。

通常シーズン向けの売上は、2008-2009年シーズンの流行が長引いたこと及び新型インフルエンザへの懸念から、第2四半期(4～6月)は49億79百万円の売上を計上し、109億55百万円となりました。

一方、第2四半期(4～6月)に見込んでいた行政向けの出荷は発生せず、行政備蓄向け売上高は144億15百万円となりました。

〔海外製商品売上高〕

2009年1月に欧州医薬品審査庁(EMA)から承認を取得した「アクテムラ」(欧州製品名:「RoActemra」)のロシュへの輸出売上が順調に増加しているものの欧州での競合品(バイオシミラー)上市と為替の影響により遺伝子組換えヒトG-CSF製剤「ノイトロジン」の売上が減少したため、142億43百万円(同8.7%減)となりました。



損益の状況

● 営業利益 ▶ **372** 億円 (前年同期比60.8%増)

● 経常利益 ▶ **435** 億円 (前年同期比78.7%増)

製商品売上高と「アクテムラ」の欧州承認による一時金収入等その他の営業収入の増加により売上高は1,916億91百万円(同31.4%増)となったものの、「タミフル」を含む比較的原価率の高いロシュ製品の売上が大幅に増加したことにより、製商品売上高に対する売上原価率は45.1%(同6.2%ポイント増)となり、売上総利益は1,078億24百万円(同20.4%増)になりました。

販売費及び一般管理費については、新製品・適応拡大品の適正使用推進と製販後調査に関わる費用等の増加により営業費が461億41百万円(同9.3%増)と増加しました。研究開発費は245億7百万円(同1.1%増)となりました。

その結果、営業利益は371億75百万円(同60.8%増)となりました。また、外貨取引に備えて実施している為替予約を主因として営業外収益が68億64百万円発生したことにより経常利益は434億54百万円(同78.7%増)、四半期純利益は263億6百万円(同39.4%増)となりました。

※なお、「前年同期比」は、当期より四半期会計基準等を適用したことにより、参考情報として記載しています。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ99億14百万円増加し、805億66百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、336億53百万円の収入となりました。当第2四半期連結累計期間

では税金等調整前四半期純利益を436億63百万円計上した一方、法人税等の支払いに117億50百万円を支出しました。

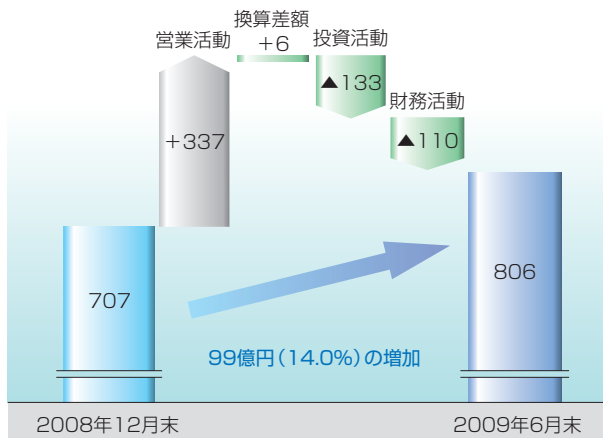
「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、133億36百万円の支出となりました。有価証券及び投資有価証券の取得と売却の純額で50億98百万円の収入があった一方、定期預金の預入と払戻の純額で90億82百万円、固定資産の取得と売却の純額で93億65百万円をそれぞれ支出しました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、110億41百万円の支出となりました。少数株主を含めた配当金の支払いに110億33百万円を支出しました。

当期実績

キャッシュ・フローの状況

(億円)



連結貸借対照表

単位：億円

科 目	当第2四半期 2009年6月30日現在	前 期 2008年12月31日現在
資産の部	(5,017)	(4,785)
流動資産	3,729	3,444
現金及び預金	908	708
受取手形及び売掛金	1,027	1,085
有価証券	545	547
たな卸資産	940	787
その他流動資産	309	317
固定資産	1,288	1,342
有形固定資産	962	983
無形固定資産	30	31
投資その他の資産	296	327
投資有価証券	106	144
資産合計	5,017	4,785

単位：億円

科 目	当第2四半期 2009年6月30日現在	前 期 2008年12月31日現在
負債の部	(858)	(815)
流動負債	825	785
支払手形及び買掛金	378	288
短期借入金及び社債	—	—
その他流動負債	447	498
固定負債	33	29
長期借入金及び社債	—	—
その他固定負債	33	29
純資産の部	(4,160)	(3,971)
資本金	730	730
資本剰余金	928	928
利益剰余金	2,869	2,710
自己株式	△352	△352
その他有価証券評価差額金	20	14
為替換算調整勘定	△58	△79
新株予約権	4	3
少数株主持分	18	17
負債純資産合計	5,017	4,785

連結損益計算書

単位：億円

科 目	当第2四半期 2009年1月 1日から 2009年6月30日まで	前第2四半期 2008年1月 1日から 2008年6月30日まで
売上高	1,917	1,459
売上原価	839	563
売上総利益	1,078	896
営業費	461	422
研究開発費	245	242
営業利益	372	231
営業外収益	69	24
営業外費用	6	12
経常利益	435	243
特別利益	3	72
特別損失	1	3
税金等調整前四半期純利益	437	312
四半期純利益	263	189

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科 目	当第2四半期 2009年1月 1日から 2009年6月30日まで	前第2四半期 2008年1月 1日から 2008年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	337	235
投資活動による キャッシュ・フロー	△133	△147
財務活動による キャッシュ・フロー	△110	△88
現金及び現金同等物に係る 換算差額	6	△7
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	99	△7
現金及び現金同等物の 期首残高	707	737
現金及び現金同等物の 四半期末残高	806	731

主要な連結子会社

中外製薬工業株式会社




- 資本金／80百万円 ●持株比率／100%
- 主な事業内容／医薬品の製造受託

中外ファーマ・マーケティング・リミテッド(英国)

























- 資本金／8,677千英ポンド ●持株比率／100%
- 主な事業内容／欧州における販売統轄・医薬品の販売

主な臨床開発の状況 (2009年7月現在)

開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症 (適応拡大)	開発 地域	ステージ(時期)					オリジン 海外製品名 (共同開発)
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	
●がん領域									
R340 カベシタピン／ゼローダ／経口	代謝拮抗剤 酵素活性化型5-FU 誘導体	大腸がん (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>	08/02		ロシュ Xeloda
		胃がん (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>			
R435 ベバシズマブ／アバستن／注射	抗VEGF(血管内皮増殖因子)ヒト化モノクローナル抗体	非小細胞肺癌 (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>	08/11		ロシュ／ジェネンテック Avastin
		結腸がん(アジュバント) (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>			
		胃がん (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>			
		乳がん(アジュバント) (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>			
		グリオブラストーマ (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>			
		乳がん (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>				
R597 トラスツズマブ／ハーセプチン／注射	抗HER2ヒト化モノクローナル抗体	胃がん (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>			ロシュ／ジェネンテック Herceptin
R1273 pertuzumab／製品名未定／注射	HER二量体化阻害ヒト化モノクローナル抗体	乳がん	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>			ロシュ／ジェネンテック
EPOCH エポエチンベータ／エボジン／注射	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン	がん治療に伴う貧血 (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>			自社
R1415 エルロチニブ塩酸塩／タルセバ／経口	EGFRチロシンキナーゼ阻害剤	肺癌 (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>				OSI／ジェネンテック／ ロシュ Tarceva
MRA トシシズマブ／Actemra／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体	多発性骨髄腫 (適応拡大)	海外	<div></div>	<div></div>				自社(ロシュ)
TP300 一般名未定／製品名未定／注射	トポイソメラーゼⅠ阻害剤	大腸がん等	海外	<div></div>					自社
CIF(R7167) 一般名未定／製品名未定／経口	MEK阻害剤	固形がん	海外	<div></div>					自社(ロシュ)
GC33 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト化抗グリピカン3モノクローナル抗体	肝がん	海外	<div></div>					自社

開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症 (適応拡大)	開発 地域	ステージ(時期)					オリジン 海外製品名 (共同開発)
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	
R7159(GA101) 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト化抗CD20モノクローナル抗体	非ホジキンリンパ腫	日本						ロシュ/GlycArt
CKI27(R7304) 一般名未定／製品名未定／経口	—	固形がん	海外						自社(ロシュ)
R1507 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト抗IGF-1Rモノクローナル抗体	固形がん	日本						ロシュ

●骨・関節領域

MRA トシリズマブ／Actemra(US)／ RoActemra(EU)／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体	関節リウマチ (適応拡大)	欧州					09/01	自社(ロシュ)
			米国					07/11	
		全身型若年性特発性関節炎(sJIA) (適応拡大)	海外						自社(ロシュ)
MRA トシリズマブ／アクテムラ／注射		関節リウマチ (新剤形：皮下注射剤)	日本						自社(ロシュ)
R1594 オクレリズマブ／製品名未定／注射	ヒト化抗CD20モノクローナル抗体	関節リウマチ	*						ロシュ／ジェネンテック
ED-71 エルデカルシトール／製品名未定／経口	活性型ビタミンD ₃ 誘導体	骨粗鬆症	日本						自社 (大正製薬)
R484 イバンドロン酸ナトリウム水和物／製品名未定／注射	ビスフォスフォネート系骨吸収抑制剤	骨粗鬆症	日本						ロシュ Boniva(US) ／ Bonviva(EU) (大正製薬)
R484 イバンドロン酸ナトリウム水和物／製品名未定／経口			日本						

●腎領域

R744 一般名未定／製品名未定／注射	持続型エリスロポエチン受容体アクチベーター	腎性貧血	日本					09/07	ロシュ Mircera
-------------------------------	-----------------------	------	----	---	---	--	---	-------	----------------

* 国際共同治験

Phase1(第Ⅰ相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性および体内動態の確認を行う。

Phase2(第Ⅱ相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase3(第Ⅲ相臨床試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

主な臨床開発の状況 (2009年7月現在)

開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症 (適応拡大)	開発 地域	ステージ(時期)					オリジン 海外製品名 (共同開発)
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	
● 移植・免疫・感染症領域									
R964 リバビリン／コペガス／経口	抗ウイルス剤 ペガシス併用	C 型代償性肝硬変 (適応拡大)	日本	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>			ロシュ Copegus
R442 ペグインターフェロンアルファ-2a／ ペガシス／注射	遺伝子組換えペグ化イン ターフェロン	B 型慢性肝炎 (適応拡大)	日本	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>			ロシュ Pegasys
MRA トシリズムブ／アクテムラ／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプ ターモノクローナル抗体	クローン病 (適応拡大)	日本	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>				自社
MRA トシリズムブ／Actemra／注射		キャッスルマン病 (適応拡大)	海外	<div><div></div></div>					自社(ロシュ)
		全身性エリテマトーデス (SLE) (適応拡大)	海外	<div><div></div></div>					
NA808 一般名未定／製品名未定／注射	セリンパルミトイルトラン スフェラーゼ阻害剤	C 型慢性肝炎	日本	<div><div></div></div>					自社
			海外	<div><div></div></div>					
● その他の領域									
EPOCH エポエチン ベータ／エボジン／注射	遺伝子組換えヒトエリスロ ポエチン	自己血貯血 (適応拡大)	日本	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>	02/03		自社
R1678 一般名未定／製品名未定／経口	GLYT1 阻害剤	統合失調症	*	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>				ロシュ
GM-611 mitemcinal／製品名未定／経口	モチリンアゴニスト 消化管機能改善剤	糖尿病性胃不全麻痺	日本	<div><div></div></div>					自社
			海外	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>				
		過敏性腸症候群(IRS)	海外	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>				
CSG452(R7201) 一般名未定／製品名未定／経口	SGLT2阻害剤	Ⅱ型糖尿病	*	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>				自社(ロシュ)
R1583(ITM-077) taspoglutide／製品名未定／注射	GLP-1 アナログ	Ⅱ型糖尿病	日本	<div><div></div></div>	<div><div></div></div>				ロシュ/イブセン(帝人)
R1579 一般名未定／製品名未定／経口	DPP-Ⅳ阻害剤	Ⅱ型糖尿病	日本	<div><div></div></div>					ロシュ

* 国際共同治験

Phase 1 (第Ⅰ相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性および体内動態の確認を行う。

Phase 2 (第Ⅱ相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase 3 (第Ⅲ相臨床試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

主要製品

●がん領域

ハーセプチン®	抗悪性腫瘍剤
リツキサン®	抗悪性腫瘍剤
ゼローダ®	抗悪性腫瘍剤
フェマラ®	抗悪性腫瘍剤
アバスチン®	抗悪性腫瘍剤
タルセバ®	抗悪性腫瘍剤

支持療法剤

ノイトロジン®	好中球減少症治療剤
カイトリル®	制吐剤

●骨・関節領域

アルファロール®	骨代謝改善剤
スベニール®	関節機能改善剤
エビスタ®	閉経後骨粗鬆症治療剤
アクテムラ®	関節リウマチ治療剤

●腎領域

エボジン®	腎性貧血治療剤
オキサロール®	二次性副甲状腺機能亢進症治療剤
レナジェル®	高リン血症治療剤

●その他の領域

シグマート®	不安定狭心症・急性心不全治療剤
ロセフィン®	セフェム系抗生物質製剤
セルセプト®	免疫抑制剤
タミフル®	抗インフルエンザウイルス剤
ペガシス®	C型慢性肝炎治療剤
コペガス®	抗ウイルス剤



アクテムラ®



エボジン®



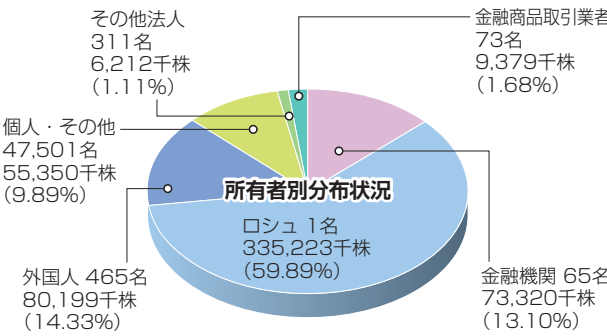
タミフル®

株式の概況

株式状況

発行可能株式総数…………… 799,805,050株
発行済株式の総数…………… 559,685,889株
株主数…………… 48,416名

株式分布状況

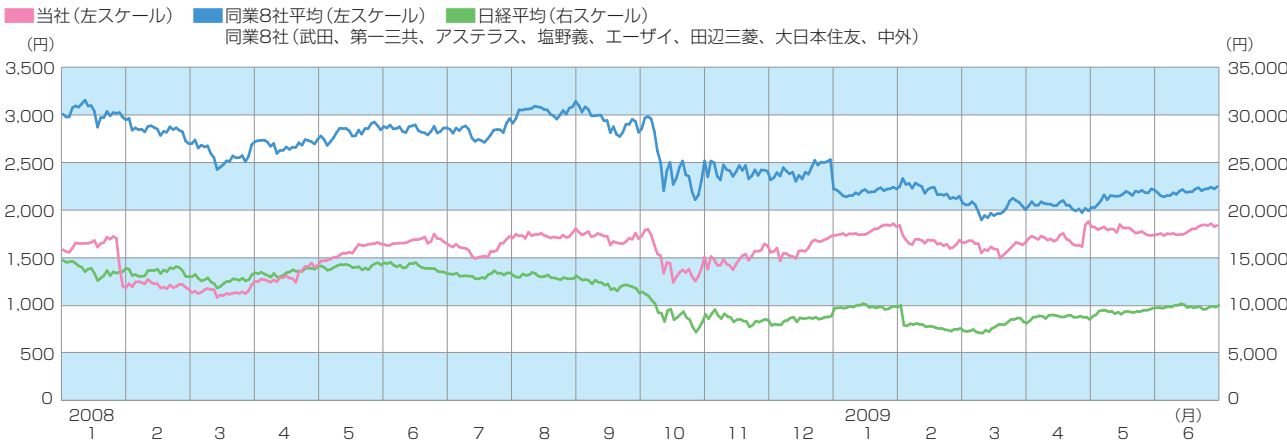


大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ロシュ・ファームホールディング・ビー・ヴィ	335,223	59.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,669	2.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,374	2.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	13,481	2.40
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムコパス アカUNT	5,671	1.01
東京海上日動火災保険株式会社	5,309	0.94
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムコパス ユーエス ベンション	3,689	0.65
野村證券株式会社自己振替口	3,490	0.62
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,250	0.58
住友生命保険相互会社	3,000	0.53

※当社は自己株式14,876,625株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。
※持株比率は小数点以下第3位を切捨てて表示しております。

株価の推移



●株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 (その他必要のあるときは、あらかじめ公告いたします。)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
配当金	期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日		〒137-8081
公告	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。	同 連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
		上場証券取引所	東京
1単元の株式数 100株			

●株式に関する手続き等について

お問合せ内容	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
改姓・改名のお届け 住所変更・住居表示変更のお届け 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の銀行振込のご指定、振込先・振込方法変更のお届け	お取引の証券会社にお問合せください。	三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
まだお受取りになっていない配当金の受領について 株主様宛郵便物の発送・返戻について 特別口座に関するお問合せ		
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711 (フリーダイヤル) http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*: 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。

●株券電子化に伴う手続き方法の変更について

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込指定のお手続きは、「配当金振込指定書」を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりましたので、従来同封いたしておりました「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。口座振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

会社の概況

● 会社概要

会社設立 1943年(昭和18年)3月8日
創業 1925年(大正14年)3月10日
資本金 72,966,825,723円

従業員数 6,474名(連結)
本店 東京都北区浮間五丁目5番1号
本社事務所 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

● 役員



代表取締役社長
永山 治



代表取締役
副社長執行役員
上野 幹夫



取締役
専務執行役員
児玉 龍三



取締役
専務執行役員
山崎 達美



取締役
専務執行役員
藤田 晴隆



取締役
専務執行役員
クリストファー・マレー



取締役
常務執行役員
中村 直隆

● 取締役

代表取締役社長	永山 治
代表取締役 副社長執行役員	上野 幹夫
取締役 専務執行役員	児玉 龍三
取締役 専務執行役員	山崎 達美
取締役 専務執行役員	藤田 晴隆
取締役 専務執行役員	クリストファー・マレー
取締役 常務執行役員	中村 直隆
取締役	尾形 悦郎
取締役	大橋 光夫
取締役	エイブラハム・イー・コーエン
取締役	セヴリン・シュヴァン
取締役	ウィリアム・エム・バーンズ
取締役	ジョナサン・ケー・シー・ノールズ
取締役	エーリヒ・フンツィカー

● 監査役

常勤監査役	松本 茂外志
常勤監査役	達 保宏
監査役	藤井 保紀
監査役	小林 俊夫

● INFORMATION

ホームページのご案内



ホームページもご覧ください。
<http://www.chugai-pharm.co.jp>



患者さん向けウェブサイト
<http://gan-guide.jp>

●IRニュースメールもご利用ください。

株主・投資家向け情報サイトからEメールアドレスをご登録いただきますと、当社が発表するニュースリリースなどの、株主や投資家の方々に重要と思われる情報を配信いたします。

社会責任報告書のご案内



社会責任報告書 CSR'08

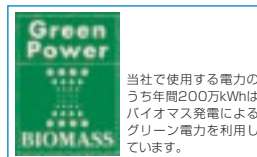
アニュアルレポートのご案内



アニュアルレポート2008



用紙は、FSC森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



当社で使用する電力のうち年間200万kWhはバイオマス発電によるグリーン電力を利用しています。

この冊子についてのお問い合わせは



CHUGAI

中外製薬株式会社

＜Roche＞ ロシュ グループ

総務部

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
TEL.03(3273)0809 FAX.03(3281)2828